

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	宇部フロンティア大学
設置者名	学校法人 香川学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
人間社会	福祉心理	夜・通信			20	20	13	
人間健康	看護	夜・通信			20	20	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.frontier-u.jp/student/g-syllabus-student/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	宇部フロンティア大学
設置者名	学校法人 香川学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

香川学園ホームページの情報公開ページ（ http://www.kagawa.ac/k_jyoho.html ）に掲載。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	団体職員	H30.12.4 ~ R2.7.6	外部理事には、社会における専門的実務経験から学園全体の運営に対して多様な視点からの意見を求めることができることから、これらを積極的に取り入れ、融合することにより、多様な教育研究環境の実現に資することを期待する。
非常勤	会社役員	H31.4.1 ~ R2.7.6	
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宇部フロンティア大学
設置者名	学校法人 香川学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>11月下旬までに次年度開講科目、科目担当者を確定し12月からシラバスの作成を開始する。2月に最終確認作業を行って3月下旬にホームページに掲載して公開している。シラバスには、授業形態・履修形態・単位数・開講期、授業概要、到達目標、成績評価方法及び評価基準、授業計画と概要、予習・復習内容等が記載されており、学生にはシラバスを確認して履修登録をするように指導している。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.frontier-u.jp/student/g-syllabus-student/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスに授業科目の評価項目ごとの評価基準と評価割合が明示されており、単位授与・履修認定はあらかじめ設定した成績評価の方法・基準により厳正かつ適正に実施している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAについては、認定科目・未履修科目・履修中の科目を除外して、次の計算式で算出し、学部学年ごとのGPA分布図を作成している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> $\text{GPA} = \frac{4 \times \text{秀の単位数合計} + 3 \times \text{優の単位数合計} + 2 \times \text{良の単位数合計} + 1 \times \text{可の単位数合計}}{\text{成績が秀・優・良・可・不可科目の単位数合計}}$ </div> <p>また、各オリエンテーション時のチューター面談等において、学生個別のGPAを利用して学修指導を実施している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.frontier-u.jp/student/g-result/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針</p> <p>ディプロマポリシーは各学部で定めており、人間社会学部・人間健康学部共に、卒業に必要な単位数（人間社会学部 126 単位以上、人間健康学部 124 単位以上）を修得し、(1) 人への関心と学問の理解、(2) 柔軟な思考と表現力、(3) 未知の領域に挑む意欲、(4) 知識の応用力と判断力及び (5) 地域に貢献する積極的態度を身に付けた学生に学位を授与としている。また、各項目について、学部の特徴に応じた解釈を付すことで、学部独自のディプロマポリシーとしている。</p> <p>カリキュラムマップ</p> <p>また入学時に配布するキャンパスガイドに、ディプロマポリシーと各科目の関係を示したカリキュラムマップを掲載し、学生に周知している。また、カリキュラムマップを教員にも周知しており、自身の授業について学生に身に付けさせる能力を意識できるようにしている。</p> <p>卒業判定</p> <p>卒業の判定は、4 年生後期の定期試験終了後、科目の成績が出た後に、卒業判定教授会で行っている。留年生の場合、前期の定期試験終了後に行う場合がある。卒業判定教授会において、4 年生一人ひとりの科目群ごとの修得単位数及び修得単位数の合計が記載された資料を基に、卒業要件を満たしているかどうか判定するとともに、ディプロマポリシーに掲げる能力が身についているかどうか確認する。卒業判定教授会の議を経て、学長が卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-policy/ 入学時に配布するキャンパスガイド</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	宇部フロンティア大学
設置者名	学校法人 香川学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kagawa.ac/k_jyoho.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.kagawa.ac/k_jyoho.html
財産目録	http://www.kagawa.ac/k_jyoho.html
事業報告書	http://www.kagawa.ac/k_jyoho.html
監事による監査報告(書)	http://www.kagawa.ac/k_jyoho.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <http://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-public-info/a-info-education>

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <http://www.frontier-u.jp/jiheer/>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

① 育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間社会学部福祉心理学科
教育研究上の目的 (公表方法 : http://www.frontier-u.jp/wp-content/themes/frontier-u/pdf/mokuteki2015.pdf)
(概要) 宇部フロンティア大学学則第 1 条に以下の通り記載している。 (目的) 第 1 条 宇部フロンティア大学 (以下「本学」という) は、学園創始の理念である「人間性の涵養と実学の重視」を建学の精神に掲げ、教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り大学教育を施し、持続可能な社会の進展と福祉社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的とする。 2 人間社会学部は、現在社会における複雑化した諸問題を、「人間と社会のあり方」の視点から総合的・横断的に、地域に密着した形で教育研究し、自らの力で課題を見出し、最適の解決方法を考え、実行する能力を涵養することを目的とする。 (1) 人間社会学部福祉心理学科は、人々のニーズに応じた援助を医療、福祉、心理などの現場で展開できる幅広い教養及び高度な専門的知識・技術、判断力をもつ人材の育成を目的とする。 3 (省略)
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : http://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-policy/)
(概要) 人間社会学部福祉心理学科では、建学の精神である「人間性の涵養と実学の重視」を教育の基本理念とし、卒業に必要な単位数 126 単位を修得し、以下に掲げる能力を身に付けた学生に、学位を授与します。 (1) 人への関心と学問の理解 様々な生活課題を抱えている人々および世界の人々に肯定的な関心を持ち、社会活動等を通じ、学問を深めることができる。 (2) 柔軟な思考と表現力 柔軟にものごとを考え、人の意見をよく聴いたうえで自分の考えを主張できる。 (3) 未知の領域に挑む意欲 地域社会および福祉や心理の現場において、新たな変化に怯まず、意欲的に対応することができる。 (4) 知識の応用力と判断力 地域社会および福祉や心理の現場において、問題点を明らかにし、教養教育・専門教育で培った様々な知見を基に、解決に向けて働きかけることができる。 (5) 地域に貢献する積極的態度 ローカルな視点と同時にグローバルな視野をもち、地域に主体的に参加できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : http://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-policy/)
(概要) 人間社会学部福祉心理学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身に付けるため、教育課程において以下のことを実施しています。 (1) 教育課程の編成 ・ 広い視野や実践活動に必要なコミュニケーション能力を獲得するため、教養科目を社会教養教育科目とコミュニケーション科目の二つの科目群に分け、それぞれから卒業に必要な単位を修得するようにしています。 ・ 地域社会および福祉や心理の現場における応用力や課題解決力を養うため、専門科目を

専門基礎科目と専門展開科目の二つの科目群に分け、それぞれから卒業に必要な単位を修得するようにしています。

- ・初年次教育を重視し、1年生の必修科目に基礎ゼミナールⅠ・Ⅱを開講し、年間を通じて学習方法や、グループワークで自分の考えを主張する能力の修得を目指しています。
- ・2年次前期に総合演習Ⅰ、後期に総合演習Ⅱ、3年次前期に総合演習Ⅲ、後期に総合演習Ⅳ、4年次通年で卒業研究といったゼミナール形式の科目を必修としています。1年次の基礎ゼミナールⅠ・Ⅱと合せて、4年間を通じていずれかのゼミナールに所属することで、課題発見・解決力やディスカッション・プレゼンテーション力の育成を行います。

- ・社会人基礎力の修得や、キャリア形成を考える科目であるキャリア支援Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを必修科目としています。

(2) 学修方法・学修過程

- ・学習時間を確保するため、年間の履修登録単位数の上限を60単位と定めています。また成績が優秀な学生には、追加での履修登録を認めています。

- ・アクティブラーニングによる授業に取り組んでいます。これにより、学生が能動的な学習の仕方を身に付けます。学生のボランティア活動を推奨し、周知・支援しています。また、インターンシップ体験を卒業単位として認めています。

- ・初年次に心理学専攻と社会福祉学専攻を選択し、各専攻に適した科目の履修をします。広い視野獲得のため、お互いの専攻の科目も選択科目として履修します。

(3) 成績・学修成果の評価

- ・各科目の評価は、「定期試験（中間・期末）」「小テスト、授業内レポート」「宿題、授業外レポート」「授業態度・授業参加度」「プレゼンテーション」「グループワーク」「演習」「実習」の8つの評価項目のうち複数組み合わせ、100点満点で総合評価します。

- ・4年生に対して、それぞれの専門に関する、知識・技術の確認・評価を行います。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<http://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-policy/>)

(概要)

人間社会学部福祉心理学科では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに示す内容を達成するために、以下に示す学生像を求め、入試選抜・入学前教育を実施します。

(1) 求める学生像

- ・様々な生活課題を抱えている人々および世界の人々に肯定的な関心を、講義や実習および主体的な社会貢献活動を通して身に付けていこうとする意欲のある人

- ・他人の意見をよく聴き、受け入れていくことで、自分の考えを述べる、または状況に応じて変えられる柔軟性を持つようとする人

- ・新しいことに挑戦し、課題を発見していくことで、フロンティア精神を身に付けていこうとする人

- ・ローカルな視点とグローバルな視野をもって地域に主体的に参加していくことで、世界における地域の重要性や課題を認識していこうとする人

- ・医療・福祉・心理などの現場で展開する幅広い教養及び専門的知識・技術・判断力を、本学の学士課程を通じて身に付けることができる人

(2) 入試選抜について

人間社会学部福祉心理学科では、求める学生像受け入れのため、教科の試験や高等学校からの推薦、センター試験を利用した試験等、多様な入試選抜を実施します。

(3) 入学前教育について

大学教育を受けるのに必要な基礎的能力の向上のため、人間社会学部福祉心理学科は入学予定者に本学が重視するコミュニケーションに関するアクティブラーニングの機会を提供します。もしくは、レポート等の課題を与え、その提出を求めます。

学部等名 人間健康学部看護学科
<p>教育研究上の目的（公表方法： http://www.frontier-u.jp/wp-content/themes/frontier-u/pdf/mokuteki2015.pdf）</p>
<p>（概要） 宇部フロンティア大学学則第1条に以下の通り記載している。</p> <p>（目的） 第1条 宇部フロンティア大学（以下「本学」という）は、学園創始の理念である「人間性の涵養と実学の重視」を建学の精神に掲げ、教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り大学教育を施し、持続可能な社会の進展と福祉社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的とする。</p> <p>2 （省略）</p> <p>3 人間健康学部は、現在社会における複雑化した諸問題を、「人間と健康のあり方」の視点から総合的・横断的に、地域に密着した形で教育研究し、自らの力で課題を見出し、最適の解決方法を考え、実行する能力を涵養することを目的とする。</p> <p>（1）人間健康学部看護学科は、生命の尊厳や基本的人権を擁護できる高い倫理観、幅広い教養、豊かな人間性並びに看護の現象・事象に的確に対応できる高度な専門的知識・技術、判断力を備えた看護職者の育成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 （公表方法：http://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-policy/）</p>
<p>（概要） 人間健康学部看護学科では、建学の精神である「人間性の涵養と実学の重視」を教育の基本理念とし、卒業に必要な単位数124単位を修得し、以下に掲げる能力を身に付けた学生に、学位を授与します。</p> <p>（1）人への関心と学問の理解 生命の尊厳や基本的人権を擁護できる高い倫理観を持つことができる。</p> <p>（2）柔軟な思考と表現力 幅広い教養を育むために、学問を探究し批判的思考力を持つことができる。</p> <p>（3）未知の領域に挑む意欲 看護の現象・事象に対応できる高度な専門的知識・技術を高める姿勢を持つことができる。</p> <p>（4）知識の応用力と判断力 専門職としての的確な判断を行い、質の高い看護を提供する能力を持つことができる。</p> <p>（5）地域に貢献する積極的態度 グローバルな社会における看護の役割を広い視野で捉え、社会に貢献する態度を持つことができる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：http://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-policy/）</p>
<p>（概要） 人間健康学部看護学科では、教育課程の編成の主要概念として、人間・健康・社会・看護の4つを掲げています。そして、【人間と看護】という総合的視点にたって、看護学の専門的知識と技術を深く学んだ人材を育成するための支援をおこないます。同時に、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身に付けるため、教育課程において以下のことを実施しています。</p> <p>（1）教育課程の編成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程を教養教育科目と専門教育科目からカリキュラムを構築しています。教養教育科目では、広い視野を持ち、多角的に物事を考え、新しい状況下でも的確に対応していく力のある学士を育成するために、幅広い知識を身につけていけるよう支援します。 ・専門の現場における応用力や課題解決力を養うため、専門科目を「看護を学ぶための基礎」「看護実践の基本」「看護実践の展開・応用」「看護学の統合」といった科目群に分け、それぞれから卒業に必要な単位を修得するようにしています。 ・初年次教育を重視し、1年生の必修科目に基礎ゼミナールを開講し、年間を通じて学

<p>習方法や、グループワークで自分の考えを主張する能力の修得を目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学科の主要な4つの概念である人間・健康・社会・看護とそれらの関係性にもとづき、学修する内容の順序性、関係性を踏まえて教科目を配置しています。 ・主体的に学び、考え、様々な状況に対応できる力を身につけられるよう各科目では主体的な学びを推進しています。 <p>(2) 学修方法・学修過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習時間を確保するため、年間の履修登録単位数の上限を55単位と定めています。また成績が優秀な学生には、追加での履修登録を認めています。 ・全学的に、アクティブラーニングによる授業に取り組んでいます。これにより、学生が能動的な学習の仕方を身に付けます。 ・保健師受験資格を取得したい学生は、2年次終了時にGPAや面談による評価により、3年次以降、保健師関連科目の履修を認められます。 <p>(3) 成績・学修成果の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の評価は、「定期試験（中間・期末）」「小テスト、授業内レポート」「宿題、授業外レポート」「授業態度・授業参加度」「プレゼンテーション」「グループワーク」「演習」「実習」の8つの評価項目のうち複数組み合わせ、100点満点で総合評価します。 ・4年生の必修科目の中で、看護の総合的な知識・技術の確認・評価を行います。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-policy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>人間健康学部看護学科では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに示す内容を達成するために、以下に示す学生像を求め、入試選抜・入学前教育を実施します。</p> <p>(1) 求める学生像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々とのかかわりに関心を持ち、その人らしさを感じることができる人 ・自分の考えを持つと同時に他者の意見も柔軟に取り入れる人 ・新しいことにチャレンジし、自らの課題を見つけることができる人 ・地域と世界の重要性を、ローカルな視点とグローバルな思考で地域に主体的に参加していくことで認識することができる人 ・人々の健康に関心がある人 <p>(2) 入試選抜について</p> <p>人間健康学部看護学科では、求める学生像受け入れのため、教科の試験や高等学校からの推薦、センター試験を利用した試験等、多様な入試選抜を実施します。</p> <p>(3) 入学前教育について</p> <p>大学教育を受けるのに必要な基礎的能力の向上のため、人間健康学部看護学科は入学予定者に課題を与え、その提出を求めます。もしくは、入学までに学習しておくべき項目を提示します。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-organization/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
人間社会	—	7人	1人	2人	2人	0人	12人
人間健康	—	8人	4人	7人	6人	0人	25人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				57人			57人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-teacher-all/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間社会	70人	30人	42.9%	300人	141人	47%	10人	1人
人間健康	80人	86人	107.5%	330人	292人	88.5%	5人	0人
合計	150人	116人	77.3%	630人	433人	68.7%	15人	1人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間社会	36人 (100%)	9人 (25%)	21人 (58.3%)	6人 (16.7%)
人間健康	88人 (100%)	2人 (2.3%)	71人 (80.7%)	15人 (17.0%)
合計	124人 (100%)	11人 (8.9%)	92人 (74.2%)	21人 (16.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画については、ホームページにシラバスを掲載している。シラバスには、授業科目名、講義・演習等の授業形態及び授業概要・毎回の授業計画を掲載している。また、学年暦をホームページ上に公表している。</p> <p>これらの公表は、以下のホームページアドレスで行っている。</p> <p>http://www.frontier-u.jp/student/g-syllabus-student/</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>シラバスに授業科目の評価項目ごとの評価基準と評価割合が明示されており、単位授与・履修認定はあらかじめ設定した成績評価の方法・基準により厳正かつ適正に実施している。</p> <p>卒業に必要な単位数を修得し、ディプロマポリシーに掲げる能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位の授与を行っている。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間社会	福祉心理	126 単位	有・無	単位
人間健康	看護	124 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： http://www.frontier-u.jp/campuslife/c-map-campus/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
人間社会	福祉心理	650,000 円	250,000 円	350,000 円	施設設備費、実験実習費
人間健康	看護	970,000 円	250,000 円	450,000 円	施設設備費、実験実習費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>① チューター制度 学生一人一人にチューターを割り当て、履修や生活面の相談・アドバイスをを行っている。</p> <p>② オフィスアワー オフィスアワーを設定し、学生が授業時間外に教員に質問ができるようにしている。</p> <p>③ 留学 オーストラリアやアメリカ合衆国等海外にある大学と学術協定を締結し、交換留学等の支援をしている。</p> <p>④ 学生寮 大学敷地内に女子寮を設け、通学がしやすい環境を提供している。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生一人ひとりに対して進路に対する「動機付け」を育成するために、入学時から診断テストや面接を中心とした支援システムを実施している。学年に応じ計画的に推進することにより、真に社会で求められる人材を育成するとともに、就職に対する在学生の満足度を向上させている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>① 学生相談室 学生相談室に相談員として臨床心理士を配置し、主に精神面での相談を行っている。</p> <p>② ハラスメント対応窓口 ハラスメントの相談ができるよう、相談窓口の電話番号を公開し、学生に周知している。</p> <p>③ 保健室 保健室において、学生の健康相談や定期健康診断の事後指導等を行っている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-public-info/a-info-education/>